

学校の「夏休み短縮」「土曜日授業」

○ゆとり教育の反省が叫ばれています。

○小中学校で

「夏休みの短縮」

「土曜日授業の復活」

の検討進んでいます。

○早ければH28年4月

実施予定

○全国学力調査では、

福岡市は、ほぼ平均

しかし、個々の学力

に開きが拡大

○「確かな学力」が

今後の学力向上

の力ギとなります。



今林ひであき

市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



○議会でも議論白熱

・授業時間の増加は、学力に結び付かないとの意見
(学説でも証明されている?)

「ゆとり」の理論・復活か?

・私は(素人かも知れないが)
勉強時間が足りなければ、
学力は落ちると思います。

・議論は、行き過ぎた場合で
「詰め込みすぎ」に対しての考え

・今の学校は、詰め込み授業か

私は、「ゆとり」からの脱脚が
必要と訴えました。

・学力は先生の「授業手法」にも
左右されると思います。

先生の負担軽減が必要

○春休みは二日間の増加

- ・ 余裕を持って新学期へ

○夏休みは六日の減少

- ・ 二学期の始業式は 8 月 27 日

○土曜日授業は年間四日

- ・ 1 日は全市一斉実施
- ・ 残りは各学校で別々実施

※自民党市議団は、さらに

全ての土曜日授業を統一し
全市一斉実施を要望中

○一方、先生の事務軽減を図り、
「子ども」と向き合う時間の
確保が必要

○「土曜日授業」と「夏休み短縮」
の組み合わせた、「子ども」に
無理のない授業実施

「ゆとり教育」で 減った授業時間

「ゆとり教育」の弊害 少なくなった授業時間

	小 6	中 3
ゆとり前の学習時間 (1989年) 平成元年	1015時間	1050時間
現在 本市の学習時間 (2013年)	995時間	1023時間
文科省の示す学習時間 (2013年)	980時間	1015時間

※ 国の示す授業時間よりは、本市は上回っているとの話ですが、ゆとり前に比べ減っているのは明らかです。

子どもの学力低下は、
土曜日を休みにした
「ゆとり教育」に原因との意見。

○仙台市・相模原市では、

夏・冬休みを短縮し、
最大 7 日間の授業実施

○神戸市は、

夏休み最終週に 3 日間
授業実施

○北九州市は、

学校の放課後を、塾の代
わりに解放しています。

※ 土曜日授業の反対意見として、

地域・塾・サークル団体から、

不定期ではスケジュールが立てられ

ないとの意見がありますが、だから、

私は、最初に、学校の日程を決め、

土曜日が確定すれば、皆さんは、

その日程に合わせ活動が始まります。

